

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

平成27年度病害虫発生予察注意報第1号について

平成27年度病害虫発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

平成27年度病害虫発生予察注意報第1号

平成27年5月28日
宮 崎 県

病害虫名 炭疽病

作物名 茶

1 発生地域 県下全域

2 発生量 やや多～多

3 注意報の根拠

- 1) 平成27年5月中旬の巡回調査の結果、発生面積率38.5%は平年（13.4%）に比べやや多、1㎡当り病葉数3.9枚は平年（0.4枚）に比べて多である。
- 2) 本年は4月に降水量が多く、平均気温も高かったことから、一番茶新葉への感染が起りやすい気象条件であった。
- 3) 今後、梅雨期に入ると二・三番茶期に発病が増加し、被害の拡大が懸念される。

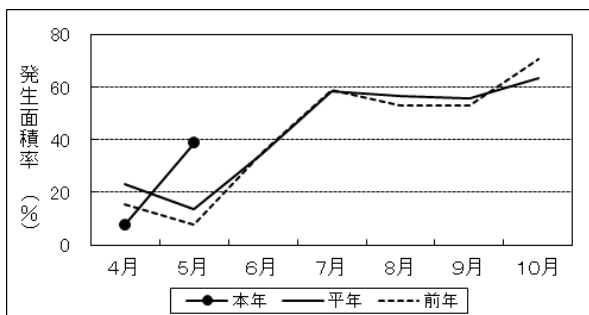


図1 発生面積率の推移

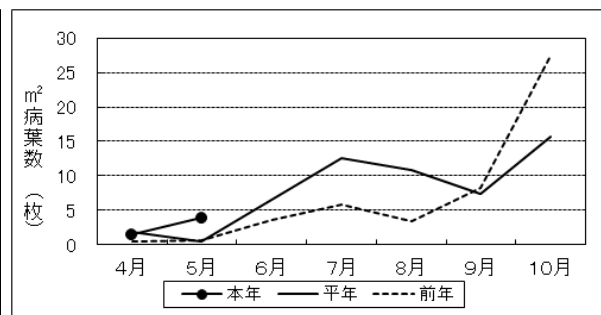


図2 ㎡当り病葉数の推移

4 防除上の注意

- 1) 本病は前茶期の病葉が伝染源となるため、前茶期に発生が多かった茶園では発生が多くなる傾向がある。また病原菌は雨によって飛散するため、降雨が多い場合は注意

が必要である。

- 2) 本病は開葉して間もない柔らかい新葉に感染するので、二・三番茶および秋芽の萌芽期～開葉期に重点的に防除する。
- 3) 多発状態の続く茶園ではせん枝により伝染源を除去する。
- 4) 品種により本病への抵抗性に差があるため、「やぶきた」、「おくみどり」、「さやまかおり」など本病に弱い品種は特に注意する。
- 5) 薬剤耐性菌の発生を防ぐため、同一薬剤の連用を避ける。

5 その他

- 1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場茶業支場、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- 2) 6月1日から8月31日の3ヶ月間、農薬危害防止運動を実施します。農薬散布にあたっては、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課
(病虫害防除・肥料検査センター) 若杉

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp